

先輩の話を聞いてみよう

プログラムを行いました

4/20（土）、帯広ケア・センター就労移行支援事業を利用して就職した方をお招きし、プログラムを行いました。



今回、お話をさせていただいたのは「パーソルファクトリー パートナース株式会社」で勤務をされています、西淵泰通さんです。

平成31年3月から当センターの就労継続支援B型事業の利用をスタートし、その後、令和4年7月に就労移行支援事業にサービスを切り替えて活動され、令和5年4月に就職されました。

今回は、当センターに通所していた時と就職後の気持ちの変化などについてお話いただきました。

就職するまでに1番気を付けたほうがよいこととして、「少しやって疲れたら仕事にならないので、日ごろから体力づくりをしておいた方がよい」とアドバイスをしてくださいました。他にもいろいろなエピソードを交えて、ケア・センターにいる間に身に付けておいたほうが良いことをたくさん話して頂きました。

参加したケア・センター利用者の皆様も、メモを取りながら話を聞き、終了後のアンケートには、『失敗してしまったことをそのままにせず謝罪・報告をする』『忘れないように困らないようにメモをとる』など、今後活動しながらできることを書いてくれていました。

帯広ケア・センターでは今後も就職した後も安定して働き豊かな生活を続けていくために役立つプログラムを企画・提供していきます。

プログラムの見学やお問い合わせも随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

(水谷)